

ベトナムの結婚式について

ベトナムの結婚式は日本の結婚式と違い、かなり大規模に行われるのが特徴です。日本では参加者は、普通 50-100 人くらいですが、ベトナムの結婚式の参加者は 500 人前後が一般的で 1,000 人くらいの規模も珍しくありません。「ジュー



ン・ブライド」という言葉があるように 6 月に結婚式をあげるのも人気ですが、暑い時期を避けて 9 月～3 月の結婚式が多いようです。

伝統的な結婚式（ベトナム北部の習慣）には、2つのプロセスがあります。



一つ目は「婚約のお祝い」で、花婿の家族が花嫁の家族を訪ねて贈り物を渡します（両家の祖父母、両親の兄弟などの年長者も同席）。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。



贈り物は地方によって異なりますが、お酒、お茶、アレカ椰子の実等伝統的なお菓子を大体5～9品持参します。二つ目は「結婚式・披露宴」です。まず、花婿とその家族が花嫁を家に迎えに行き一連の儀式を執り行います。その後、花婿の家に移動し、二人が祭壇で祈りを捧げた後、両

親と参加者が承諾した上で晴れて夫婦となります。



結婚式が終わると、披露宴会場に移動します。地方ではほとんどの披露宴は自宅で行われますが、都会では家が狭いのでホテル、レストラン、結婚式専用施設などが利用されます。新郎新婦が登場し、ケーキ入刀やシャンパンタワーなどのセレモニーがあり、新郎新婦がテーブルを回って挨拶をしたり記念撮影をします。披露宴ではマナーに厳しくはなく、参加者の服装は自由で席順も決まっていません。来賓の祝辞は省略されることが多く、招待客が自由にステージでスピーチをしたりお祝いの歌を歌っても問題ありません。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAMの運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。



【写真：JVRC 提供】

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。